



北数教高校部会だより

北数教高校部会事務局
札幌平岡高校 〒004-0874
札幌市清田区平岡4条6丁目13番1号
TEL011-882-8122

今回は1月に行われた「数学教育実践研究会」の活動を中心にお知らせします。

■「第108回数学教育実践研究会」

日時 平成31年 1月26日(土)

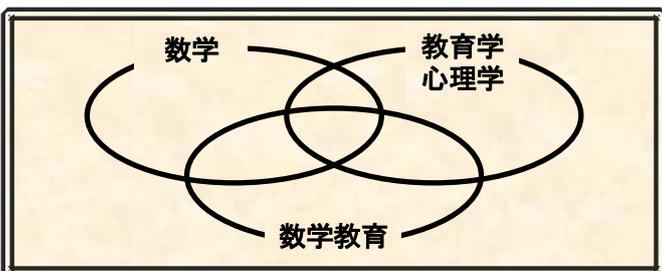
会場 ニッセイMKビル

【講演】「次代を生きる子どもが身につけなければならない数学科指導における数理科学教育と批判的思考」

講師：北海道教育大学旭川校 数学教育専攻
教授 久保 良宏 先生

久保先生の講演は、「数学」と「教育学」と「数学教育」との関係を明らかにするところから始まり、具体的な題材・問題を扱いながら数理科学的意思決定と批判的思考について講演されました。

まず久保先生は『数学教育は数学の部分集合ではなく、また数学と教育学や心理学などの交差領域、あるいは中間領域とも捉えることはできないのではないか』と、投げかけています。この考え方は教師の専門性に関係し、数学観などに現れると述べています。



また、数理科学的意思決定については知識基盤社会を生きる生徒に対して、数学的モデル化を更に一步進めた考え方であり情報を収集し知識を統合し新しい考え方や知識を生み出す力として身につけさせる必要がある。そして批判的思考の具体化においては方法概念への着目が重要であることから、航空機の運用やスポーツなどの題材をあげながら様々な着眼点について挙げられていました。



【レポート発表】

後半は、13名15本の実践・研究発表がありました。

■レポート発表一覧

「2つの放物線と直線について」

立命館慶祥 時岡 郁夫

「ベイズ推定の思想 AIはどのようにして意思決定をするのか」

札幌啓成 松本 睦郎

「天売高校における主体的・対話的で深い学びの実践」

天 売 山本 大輔

「数学でまちづくり～図形の不思議～」

札幌丘珠 阿部 卓朗

「鳩ノ巣原理について」

岩 内 津嶋 雅顕

「気づきにくい間違い」「思い込みの危険例」「教材は自分の中にある」

会 員 安田富久一

「とりとめのない数学の話②」

有 朋 大谷 健介

「あるごじゃんけん」

「不定方程式の「互いに素であるから…」を省略する方法」

旭川南 岡崎 知之

「汎用性を高めた『対話』と『振り返り』を用いた授業改善について」

士別翔雲 吉田 奏介

「数学史にまつわるエトセトラ(1)」

札幌東陵 川嶋 哲典

「『中学入試はネタの宝庫ではないか説』を検証してみた」

石狩南 福島 洋一

「関数のグラフでOne more thing 2」

札幌南 長尾 良平

「ちょっと面倒な等式の証明」

会 員 村田 洋一



■上記のレポートや研究会情報が、高校部会ホームページ「数学のいずみ」(<http://izumi-math.jp/>)に掲載されます。是非ご覧ください。

■数実研会員で異動される方は、春休みになりましたら事務局までご連絡ください。

◆北数教の活動には、北数教会員の皆様の年会費(1人500円)が不可欠です。会費納入へのご協力をお願いいたします。

【次回研究会のご案内】

日時:2019年6月1日(土) 13:30 ~ 17:30

場所:北海道大学

使用教室、講師は未定です。決まり次第メール・ホームページ「数学のいずみ」等でご案内します。